

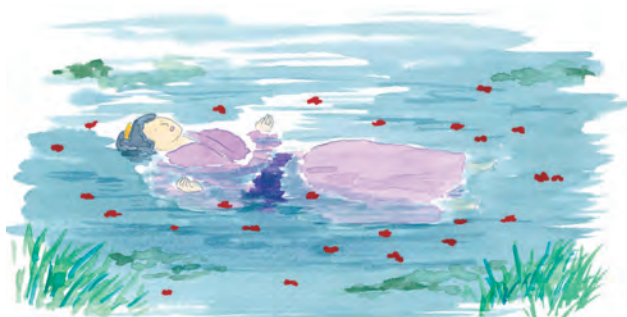
やまみち
「山路を登りながら、かう考へた。」の有名な書き出しではじまる夏目漱石の小説「草枕」は、「吾輩は猫である」「坊っちゃん」に続いて発表された、漱石の代表作品のひとつです。

東京から来た旅の画家が、温泉場であ会った美しい女性を中心に、そこで体験したさまざまな出来事を通して物語は進んでいきます。

この小説には、詩や絵画をはじめとする日本、東洋、西洋の様々な芸術作品が文中にちりばめられ、理想とする芸術を求めていく内容となっています。漱石が日本、東洋、西洋の文明に対してどの様な影響を受け、本作を通じてどの様な芸術観を描こうとしていたのかを知ることができます。

また、小説「草枕」は後世の画家たちに大きな影響を与え、「草枕絵巻」をはじめ、挿絵や絵本が作られました。今回の展示会では、これらの絵本や絵巻（複製）、挿絵を紹介していきます。

さらに、漱石が熊本時代の住居から、「草枕」の舞台といわれている熊本県玉名市まで旅をした道筋「草枕の道」と、モデルとなった^{おあま}小天温泉等、「草枕」の舞台も紹介します。漱石の「草枕」の世界をご体験ください。



『絵本草枕』より © いう良一

新宿区立漱石山房記念館《通常展》テーマ展示

夏目漱石「草枕」の世界へ

— 絵本・絵巻・挿絵にみる「草枕」 —

■関連イベント

ギャラリートーク（於、地下1階講座室）

7月24日（日）、8月21日（日）、9月19日（月祝）
午後2時～2時20分

オンライン ギャラリートーク

YouTube チャンネル「レガスちゃんねる by 新宿未来創造財団」で、担当学芸員による展示解説映像の配信を予定しています。詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。

次回展示予告《特別展》夏目漱石と芥川龍之介
令和4年10月8日（土）から11月27日（日）



『鶉籠』明治40（1907）年1月1日 春陽堂 ※「草枕」収録



小林萬吾「草枕」口絵（『新小説』11年9巻）



岡本一平「草枕絵物語」より



■交通のご案内

- 電車 東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分
- バス 都営バス（白61）「牛込保健センター前」より徒歩2分

※ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※ 国内の新型コロナウイルス感染状況により、記載内容に変更が生ずる場合がございます。また、感染拡大を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、必要な対策を講じて開館しています。詳細は当館のウェブサイトにてご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。